

行政 Administration

せたな町長



高橋 貞光

住み良い町づくりを
町民皆さまと共に

新年あけましておめで
とうございます。

町民の皆さまには、希望
に満ちた新春を迎えられ
ましたこと心よりお慶び
申し上げます。

昨年を振り返ってみま
すと、記録的な猛暑に加え
7月29日、8月11日と2度
の豪雨により農業、漁業を
初めライフライン等に大
きな被害を受け、あらため
て自然災害の怖さを知ら
された年でした。復旧工
事につきましては、国・道
も含め年度内完成を目指
し順調に作業が進んでい
る所であります。

こうした中、新町は合併
5周年を迎え、せたな町食
と産業まつり、映画、講演
会、NHK公開録音等数々
の記念事業を実施し、町民
の皆さまに楽しんで頂き
ました。

農業では主力の水稲が

作況指数で平年を上回る
103で「やや良」となり
ましたが、馬鈴薯・豆類・露

地野菜などの畑作物につ
いては高温と湿害により
生産量、販売額ともに昨年
を下回ったほか、畜産にお
いても高温による乳量・乳
質、増体の低下と昨年を下
回る結果となりました。

また、10年ぶりに宮崎県
で口蹄疫が発生したこと
から侵入防止対策を強化
し、防疫の徹底に努めたほ
か、継続事業のハウス・優
良家畜導入や基盤整備へ
支援をし生産基盤強化を
進めました。

漁業については、昨年に
比べ金額でイカが20%増、
サケが11%増と回復傾向
にはあるものの漁協の経
営は厳しく、向う10ヶ年の
再建計画を本年度よりス
タートしました。

このことにより漁業者
の負担金が大幅に増えた
ことから、ウニ・アワビ等

これまでの補助に加え必要な支援を新たに措置しました。また、一次産業に影響が極めて大きい「TPPへの参加について協議を開始する」とした政府方針に対しては、昨年12月1日の全国町村長大会において反対を明確にし、マニフェストで掲げた農林漁業と農山漁村の再生を責任もって実現することを求め特別決議を採択したところでした。

さらに社会資本関連の主なものとしては、大成区水道施設整備工事の宮野配水ポンプ場新設を始め、医療では懸案となっていた大成診療所の用地確保を年度内解決に向けて取り組むこととしております。

瀬棚区では、障害者地域活動支援センターの完成、榑崎由紀子さんより寄付されました旧榑崎医院の

小規模特別養護老人ホームの整備に着手したほか、北檜山区では、南5号線改良工事が完成し、満俺線改良工事にも着手しました。下水道関係ではし尿処理コストの削減を目指しミックス処理事業に着手する等、インフラ、医療、福祉と整備を進めて参りました。

また、町財政の健全化につきましても将来負担の少ない町づくりを進めてきた結果、本年度末の借金残高において合併時より約40億円の削減となる予定でおります。これからも人口減や一本算定により大幅に交付税が減少することから、さらに公共施設の整理統合・職員数減による人件費・借金を減らすことによる公債費等の削減を行いながら、人口規模に見合った経常的経費となるよう町の形を見直し財政構造を改善していきます。

なければならぬと考えっております。

明るい話の少ない中でノーベル化学賞を受賞した北大名誉教授の鈴木章さんと米パデュー大学特別教授の根岸英一さんお二人の快挙に日本中が喜びました。永年の研究が化学分野の発展に大きく貢献したことが認められました。

私も町民皆さまと共に「子や孫たちに何を残すことが出来るか」ということを、よく考え責任ある仕事を今年もして参りたいと考えております。あらためて変わらぬご指導をお願い申しあげます。

それでは町民の皆さま又町にとりましても新しい年が良い年となりますように心より祈念申し上げます。

菅原 義幸 せたな町議会議長

地方自治の視点に立って

新年あけましておめでと
うございます。

今年は十二支の卯年ですが、漢書によると卯とは「冒」で、「おおう」という意味をもち、草木が地面を蔽うようになった状態を表していると言われてます。「兎」のイメージとはずいぶん違いますが、新しい年が皆様にとりまして、幸多い年となりますようお祈りいたします。

めまぐるしく変わる政局

昨年は総選挙での政権交代からわずか1年、7月の参議院選挙で与党に厳しい審判が下されました。政治とカネ、後期高齢者医療制度、普天間基地、消費税問題に加え、尖閣諸島、閣僚失言、政倫審問題など、政局がめまぐるしく変化した1年でした。

TPP反対の意見書可決

11月末の町議会において

「TPP(環太平洋経済連携協定)交渉への参加を行わないよう求める意見書」を、全員一致で可決しました。協定参加で北海道は2兆円の経済損失が予想され、知事、道議会、農漁業団体、経済団体、消費者団体などがこぞって反対しています。世論を高め、豊穡の大地を次世代につなぐ必要があります。

議会ルール順守の重要性

この間私たちは、議会の民主的運営のために、地方自治法や条例・会議規則・運営基準など、議会ルールを遵守することが重要であることを深く学びました。とりわけ議長の職にある者に、そのことが厳しく問われた4年間でもありません。

議会活性化の努力

こうした教訓に学んで、

昨年は12回の全員協議会を開催し、全議員への情報提供と意思疎通をはかりました。また正副議長・委員長協議会(6人構成)を導入し、議会公開、町政執行方針の早期提案、臨時交付金申請前の協議、正副議長・委員長の陳情活動参加、理事者・議会一体の医師確保活動、徹底した予算・決算審査などに取り組みまし

さらなる議会改革

今後の課題として、①すべての会議の公開、傍聴の便宜 ②議会報告会の実施、町民参加の議会活動 ③ネット配信などの広報改革 ④資質向上のための学習・研修 ⑤「議会基本条例」制定に向けた調査研究などがあげられます。

残された任期はわずかですが、最後まで粘り強く努力する決意です。

地方自治の視点に立って

この町の存立を揺るがす借金残高も、合併時の212億円から40億円減となり、新年度には「財政非常事態宣言」が解除される見通しとなりました。行政の監視と共に、地方自治と町民福祉の視点から行政と協力することも、議会の大事な仕事であります。与えられた職務を誠実に遂行することをお誓いし、年頭のご挨拶といたします。

教育 Education

高野 利廣

せたな町教育委員会教育長

未来を担う子どものために

新年あけましておめでと
うございます。謹んで初春
のご祝詞を申し上げます。
また、皆様には、日頃から
本町教育の振興に多大なご
支援、ご理解を賜っておりま
すことに、心より感謝申し上
げます。

昨年一年間の教育行政を
ふり返ってみますと、学校教
育の分野では、小・中学校に
おける、新学習指導要領への
移行期の取組が大きな課題
でした。とりわけ、平成23年
度から本格実施となる小学
校では、各種計画の整備をは
じめとする教育課程の最終
作業を進めているところで
す。

学力向上の取組につきま
しては、4回目となった全国
学力・学習状況の調査結果を
受け、各校で基礎・基本の定
着と応用力を伸ばすための
取組を進めているところで
す。教育委員会としまして
も、昨年4月に知・徳・体の
バランスを重視した「せたな
町学力向上プラン」の改訂を
行うとともに、8月には子ど

もの生活習慣や学習習慣の
確立をめざして「4つの提
言」と、「家庭学習習慣化」
の取組を行ってまいりまし
た。

このことと関わり、子ども
たちの心と体の健全な成長
に向けて、「食育」の推進と
「生活リズム」の確立が求め
られています。そのため、家
庭と連携し「早寝・早起き・
朝ごはん」運動を継続してま
いります。

いじめ・不登校等問題への
対応につきましましては、10月に
「いじめ防止教職員ガイドラ
イン」を発行し、各学校での
指導強化に努めるとともに、
対策本部会議で交流・協議を
行いました。今後も継続し
て取り組んでまいります。

施設面につきましましては、安
全・安心な教育環境のため、
学校施設耐震診断の結果を
受け、順次整備を進めてま
いります。このことに関わっ
て、久遠小学校屋内体育館は
耐震上の危険性があるとの
指摘を受けたため、久遠小学
校を現大成中学校校舎へ、大
成中学校を旧大成高校校舎

へと、それぞれ移転をするこ
とにしました。

学校適正配置につきまし
ては、近年、本町においても
少子化が加速してきており、
今後の適正なあり方につい
ての検討が求められており
ます。これにつきましましては、
順次、各地区で検討を進めて
いるところです。

太櫓小学校につきましまして
は、これまで海浜留学生制度
を実施してきましたが、昨年
8月に地元生が0名となっ
たため、地区懇談会の開催等
を経ながら、最終的に教育委
員会として22年度末を以て
閉校という苦渋の決断をす
るに至りました。

さらに、瀬棚商業高校の生
徒募集停止に伴い、檜山北高
校への通学バス補助につい
て、諸々の関わりを考慮しな
がら進めてまいります。

社会教育の分野では、各区
の文化祭・芸能発表会をはじ
めとして、高齢者大学や国際
交流など特色ある事業が効
果的に進められております。

また、国の委託事業で3年

間継続してきた「学校支援地
域本部事業」が今年度末で終
了しますが、児童生徒への教
育効果を考慮し、町独自で本
事業を継続したいと考えて
おります。

さらに、旧大成町時代から
数えて今年40回目を迎える
町民駅伝大会では、著名ゲス
トランナーを招聘しての開
催を予定しておりますので
ご期待願えればと思います。

今後、第一次せたな町教育
推進計画（平成22・26年度）
に基づき、中・長期的展望を
見据えながら、21世紀を担う
せたな町の児童生徒の教育、
及び心豊かに生活できる生
涯学習の町づくりを鋭意努
めてまいります。

町民の皆様におかれまし
ては、これまで以上にござ理
解・ご協力をお願い申し上げ
ますとともに、今年一年が幸
多き年になりますようお祈
り申し上げ、年頭のご挨拶と
いたします。

